

教育委員会だより

第6号 (平成26年 7月～ 9月)

発行者
池田町・養基組合教育委員会
池田町六之井1468-1
☎ 0585-45-3111 Fax 0585-45-7116
E-mail yakuba@town.gifu-ikeda.lg.jp

夏休みのラジオ体操

ありがとうございます

今年の夏休みも、各地区でのラジオ体操に大勢の方のご参加をいただきました。子どもたちにとっては、夏休みのよい思い出の一つになったことと思います。そして、こうした地域の行事が郷土への愛着心につながるとともに、よき行事として次の世代に引き継いでいってくださるものと確信します。



六之井地区の体操風景 8月22日

さて、ラジオ体操の期間についてですが、いつの頃からか、お盆前で終わってしまう地区が目立つようになりました。世話をする係の方にとっては負担感があり、やむを得ないかなとも思いますが、できることならお盆の後も続けてほしいと正直思います。自分自身の子どもの頃を振り返ってみても、夏休みの初めのうちは規則正しい生活

ができていましたが、お盆過ぎ頃からだらけてしまったことを覚えています。町内の現状は67地区中36地区がお盆過ぎまで継続して実施していただいています。役員の皆様には、地区の区長さんをはじめ、青少年育成委員、老人クラブの方にも協力していただき、実施期間について次年度ご検討をお願いいたします。

全国学力学習状況調査の結果について

4月22日(火)に実施された全国学力学習状況調査(小6、中3対象)の結果が8月末に届きました。各学校では、国語、算数(数学)の学力の結果や児童への質問の回答結果を分析・考察して、今後の指導の改善策を検討しています。9月中には、保護者の皆様に学校便り等で説明をまいります。

池田町全体を見ると、岐阜県全体の傾向と同じように、小学校は全国平均よりやや低く、中学校は全国平均よりやや高い結果となりました。しかし、確かな学力とは、テストで計ることのできる知識や技能だけではなく、自ら学ぶ意欲や問題や課題を見つけ解決していく力、自分の考えと友達の考えを比べながらよりよい考え方を見つけていく力などが大切です。岐阜県の小学校は、他県の小学校以上にこういった確かな学力を子どもたちに付けていると自負しています。中学校の点数が高いのは、中学校の努力だけでなく、このような小学校の努力が中学校で生き

ていると考えています。

とは言っても、岐阜県として池田町の小学生の点数がやや低いことは気になる状態です。学校も子どもたちが学んだことを定着させる指導を充実させる必要があります。また、家庭でも家庭学習の習慣を身に付けさせる事が大切です。学校と家庭が今一歩努力すること、子どもたちがより一層確かな学力を付けていくよう、教育委員会としても働きかけてまいります。

土曜授業の実施について

保護者の皆様に、7月1日付けて土曜授業についてのアンケートを実施しました。学校週五日制の実施から10年以上が経過し、6割近くの児童生徒が土曜日をそれなりに有意義に過ごしているようです。しかし、一方で6割近くの保護者が土曜授業の実施を望んでおられることが分かりました。このことは、より充実した生活を望んでいる結果としてとらえています。また、回数としては、月1、2回実施を望む保護者が7割近くに達しています。

しかし、急激な変化は、現在実施されている様々なイベントやスポーツ行事等と重なることが危惧されます。

今後、空調設備の整備に伴い、夏休みの短縮を実施することによって授業時数の確保が期待できることから、教育委員会としては、現在のところ年2回程度の土曜授業が適当ではないかと考えています。

土曜授業を実施することにより、授

業時数を確保する中で、保護者や地域の皆さんに公開授業や学習発表会を参観していただき、住民などの学校外部からの人材の協力を得て授業を行ったりすることができ、また、月曜日を振替休業日にする必要がなくなるため、保護者不在で子どもだけで生活する点が改善できます。

今後、学校及び社会教育団体等との協議を重ね、12月中には結論を出し、保護者の皆様にお知らせします。

「福祉」と「英語」の講演会及び事例発表会を開催しました

8月2日(土) 池田町中央公民館にて、午前は福祉教育講演会及び事例発表会、午後は外国語活動・英語スピーチの事例発表会を開催しました。当日は大勢の方にお越しいただきありがとうございました。

福祉教育講演会では、文部科学省審議官の前川喜平さんと岐阜県教育委員会教育長の松川禮子さんに国と県の福祉教育の動向について講演していただきました。事例発表では、前川審議官は「福祉と教育」と題して、学校教育における福祉教育の位置づけや福祉体験を通して子どもたちの心が育まれることをお話いただきました。松川教育長は「岐阜県における福祉教育の現状と課題」と題して講演していただきました。事例発表では、各小中学校と池田高校の児童生徒が中心となり、今までに実践した活動の紹介や活動を通して学んだことを発表しました。サンビレッジ国際医療福祉専門学校は、摂食嚥下障害の事例を通して、「対象者の心に寄り添う心」を育てる重要性を訴えられました。

福祉体験を発表する小学生



英語活動を発表する小学生



午後の外国語活動・英語スピーチでは、各小学校の児童が、日頃学習している内容を7、8分で紹介してくれました。英語の歌やあいさつ、自己紹介、動物の鳴き声、好きなスポーツを尋ねたり答えたりしていました。八幡小学校の6年生は、修学旅行で外国人観光客に話しかけた様子を再現してくれました。どの子どもも明るく元気に発表でき、英語でのコミュニケーションを楽しんでいる様子でした。中学生6名と高校生1名は5分程度の英語スピーチをしてくれました。感情表現が豊かで気持ちがとてもよく伝わってきました。

今年度は昨年以上にたくさんの方にお越しいただき、学校の取り組みを理解していただくよい機会となりました。次年度も開催しますので、ぜひご参観をお願いいたします。

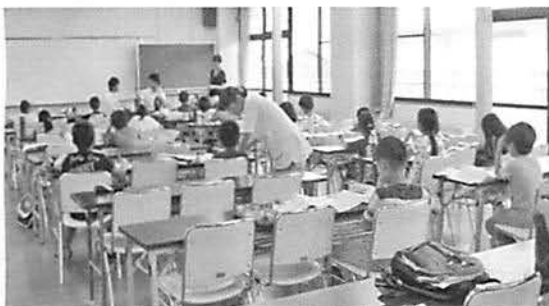
教育長 長谷川 貴志

寺子屋学習会 参加者の状況

	3年生	4年生	5年生	6年生	中学生	合計
7月23日	19	18	18	17	14	86
7月24日	18	16	15	13	8	70
7月25日	16	16	12	15	8	67
8月19日	8	10	6	4	7	35
8月20日	7	10	7	5	7	36
8月21日	8	6	6	5	5	30

夏休み 寺子屋学習会
多くの参加、ありがとうございました

小学生の学習風景



中学生の学習風景



芸術の連鎖祭り in IKEDA

池田町では、平成16年度より「芸術の連鎖祭りin IKEDA」という文化行事を開催しています。彫刻や絵画など形ある芸術作品を、歌人が形のない言語芸術（短歌）へと変化させる・・・こうして異分野の芸術を連鎖させることで、より多彩な創作活動へと発展させ、文化芸術の活性化を図るものです。



オープニングセレモニーの様子

今年度は8月23日（土）から9月13日（土）まで、池田町中央公民館ロビーで町内外の著名な芸術家や、未来の池田を担う池田高校生徒、中学生、保育園児童などの作品・短歌33組が「対」になって展示され、多くの人に鑑賞して頂きました。この催しに合わせて「短歌大会」も開催し、作品を募集しました。特に町内の小学生には、池田町の歌人組織「池田短歌会」の皆さんが各学校を訪れて短歌の作り方や楽しさを教え、できた作品



保育園児の作品と短歌のコラボレーション

を応募していただきました。

集まった一般79、小学生324、中学生220の短歌から各賞が選出され、「芸術の連鎖祭り」オープニングセレモニーで表彰式を行いました。

最近では他地域の文芸祭等に応募、受賞する児童も多くなり、今後も芸術を通して文化的な人づくり・まちづくりに寄与したいと考えています。

池田町学校保健安全委員会を

開催しました

社会教育課 横幕 大祐

池田町・養基組合教育委員会では、8月21日（木）に池田町学校保健安全委員会を開催しました。この委員会は池田町の全学校に共通する保健安全の課題について、協議を行い、児童生徒の健康・安全のために必要な指導・援助を行うことを目的として、今年度新たに設けたものです。出席は各学校の校長や教頭、保健主事、養護教諭、栄養教諭、給食センター関係者など31名で、次の3つの課題について協議しました。

【防災計画と学校の対応】

●平成26年3月に見直された「池田町地域防災計画」について担当の野村総務課長より説明を受けました。特に南海トラフ巨大地震については今後30年以内の地震発生確率が70%と想定され、池田町においても被害想定がされています。防災として町では避難場所の指定や備蓄倉庫の設置、備蓄食料品などを年々整備しています。避難所の開設・運営については、行政と地域住民が中心となり、学校も協力することとそのため3者の連携や計画が必要となることを共通理解しました。

●「（警報発令時などの）池田町本部活動体制」に基づき、各学校においても状況に応じて教職員が学校などで待機することを再度確認しました。

【アレルギー対応】

アレルギーにより特別な配慮・管理が必要な児童生徒の把握を行うため、「アレルギー疾患調査票」を新たに作成します。この調査票により、毎年保護者がアレルギーの状況を学校に知らせ、小・中学校までの9年間通して学校で管理が行えるようになります。

医療機関を受診して「学校生活管理指導表」の提出が必要となる児童生徒の基準を次のとおり設けます。

- ①エビ・ペンを持っている
 - ②のみ薬を使用している
 - ③給食の牛乳除去をしている
 - ④代替弁当が必要
 - ⑤詳細な献立が必要：など
- 特別な配慮が必要な児童生徒

【学校給食危機管理】

昨年、学校給食センターで作成した「危機管理対応マニュアル」の異物混入の場合の対応について確認し、今後、詳細な異物混入対応マニュアルの作成を進めます。

学校教育課 長濱 美由紀

平成26年度 池田町青少年育成町民大会のお知らせ

今年度の池田町青少年育成町民大会は、下記のように実施します。
池田町の宝である子どもたちを健全に育成するため、保護者の皆様を始め青少年の健全育成に携わっていただいている皆様のご出席を是非ともお願いいたします。

記

日時 平成26年11月30日(日) 13:00～
場所 池田町中央公民館

《前半》実践発表

- 重点目標1 「大人も子どもも 大きな声で元気にあいさつをしましょう」
温知小学校区
- 重点目標2 「社会の基本的ルールを守る気持ちや 責任感・奉仕の精神を養いましょう」
八幡小学校区
- 重点目標3 「早寝・早起き・朝ごはん運動を推進し、 家族でふれあう時間を大切にしましょう」
養基小学校区
- 重点目標4 「地域のおじさん・おばさん運動を推進し、 地域の行事やラジオ体操を通して、 子どもたちが主体的に地域づくりに参画できるようにしましょう」
宮地小学校区
池田小学校区
- 重点目標5 「いじめをなくし、 インターネット・携帯電話の安全安心な利用を促進して、 非行の芽を摘む社会環境づくりに努めましょう」
池田中生徒会・PTA

《後半》魂のボーカリスト杉山裕太郎さんによる講演ライブ

「親子の絆は世界一の宝物」

「暴走族リーダー」「極度の薬物中毒者」のどん底青春期であったが、親が掛けてくれた愛に満ちた「ひとこと」で更生。

愛情を具体的な「コトバ」で伝えることの重要性を実感。以後、若年化する自殺や猟奇殺人等で失われる尊い命を救うべく、入魂の歌と語りをミックスした講演ライブで日本縦断中



社会教育課

教育委員会の主な活動 7月 から 9月

日付	活動	備考
7月 1日	フリー参観	八幡小学校
7月 8日	池田町・養基組合合同教育委員会	役場第3会議室
7月15日	池田町教育委員会協議会 新任研修	教育センター 役場3A会議室
8月 2日	福祉教育講演会・事例発表会 外国語活動発表会・英語スピーチ	中央公民館
8月21日	池田町学校保健安全委員会	役場3A会議室
8月29日	学校訪問 海津市立石津小学校	池田町教育委員会
9月 4日	学校訪問 中津川市立坂下中学校	養基組合教育委員会
9月 9日	池田町・養基組合合同教育委員会	視聴覚室
9月13日	池田中学校体育祭	池田中学校
9月17日	池田町教育委員会協議会 (教育委員会制度の改定について)	教育センター
9月27日	小学校運動会	各小学校
9月29日	全国学力学習状況調査指導改善説明会	羽島市文化センター
9月30日	池田中学校 学校訪問 (学校評価報告、教職員面談)	池田町教育委員会

お知らせ

- 10月は、各学校への教育委員会訪問を計画しています。訪問の目的は、中間の学校評価の聴取及び教職員との面談を実施し、後半に向けてモラルを高めることです。
- 全国学力学習状況調査の結果を受けて、9月29日(月)に岐阜県教育委員会主催で、全国学力学習状況調査指導改善説明会が羽島市で開催されます。教育委員会としても研修を深め、池田町の児童生徒の学力向上のための施策を検討してまいります。

編集後記

第6号の「教育委員会だより」を発行することができました。前回まで、用紙のサイズに制限され、お伝えしたい内容を盛り込むため、文字サイズを調整して編集してきました。その結果、文字サイズ、記事の配置など、読みづらい紙面になっていたのではと反省しています。今回より A3サイズ見開きにしたことにより、文字サイズも大きくでき、記事も豊富に載せることができました。

今後とも、より読みやすい紙面づくりに努めてまいります。よろしく、お願いいたします。

編集担当 小川 直美、国枝 磨須美